



齊藤 三寛

(株)アスクゲート代表取締役

2010年12月で、創業10周年を迎える。今年は09年問題で、人材派遣業は難しい局面を迎える中、年々売上高を伸ばし今期は30億円を超える見通し。

「人材派遣業にとって09年問題は頭の痛い問題ですが、当社では創業して10年近くが経過して、量、質とも優秀

創業10周年を目前に新たな挑戦 積極的なM&Aで活路を開く

な人材が確保でき、取引先からの信頼も高まっています。社会的に見て、正規雇用が増加することは喜ばしいことですが、今の自動車製造業の動きなど

を見ると、逆に人員削減が大きなテーマになっています」と、冷静に業界を分析する。

業績が伸びている大きな要因に、農業分野からの需要が挙げられる。農作物の収穫や選別など、農業人口の減少から派遣の依頼が増加しているという。「今年は、室蘭に営業拠点を設け、苫小牧を中心とした胆振管内や道南地区への人材派遣を考えています」と、シェア拡大を狙っている。

今年の大きなテーマは、M&Aによる業績の拡大。月に1件はM&Aの案件が入り、様々な業態があるという。「大げさな合併ではなく、当社に関連する業種や、業績がよくても後継者がいない企業を手助けする意味合いがあります」と、あくまで人材派遣業を中心とした業務提携を対象とする。

07年6月に、3業態を分社化して持ち株会社に移行した。「分社化により、責任の所在が明確化され経営効率が上がりました」と、着々と土台を固めている。時代の動向を的確につかみ、それにすばやく対応する行動力の速さは健在だ。

さいとう みつひろ●1973年(昭和48年)、旭川市生まれ。地元の高校を卒業後、市内の設計事務所に入り、20歳で設計施工会社を設立。2000年、人材派遣会社「アスクゲート」を設立。07年6月、人材派遣業や飲食業、介護事業を分社化して持ち株会社に移行。